

令和6年度第18回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時
及び場所

令和6年7月4日（木）13:30～13:50
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
公益財団法人日本陸上競技連盟内 A会議室/オンライン

出席委員

世界陸上財団 事務次長（委員長）	川瀬 航司
弁護士	原澤 敦美
公認会計士	黒石 匡昭
世界陸上財団 総務部長	田近 隆
世界陸上財団 企画部長	白石 正樹
世界陸上財団 財務部長	前山 琢也
世界陸上財団 業務開発部長	小林あかね

（敬称略・7名）

案件 1

東京2025世界陸上競技選手権大会ルック・クリーンベニューに係る業務委託

契約方法

希望制指名競争入札

審査案件

概要

○大会のブランディングを図るため、競技会場や関連施設等の装飾（ルック）を行うとともに、大会スポンサーの権利保護のために、競技会場や関連施設における第三者の広告・表示物へのマスキング処理（クリーンベニュー対策）を行う。

○主な委託内容は以下のとおり

ルック	<ul style="list-style-type: none"> ・ルックの素材、数量、種類、設置方法等の検討及び計画・設計の策定 ・ルックの製作、設置、維持、撤去、リサイクル、廃棄の実施
クリーンベニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・財団が作成するクリーンベニュー対策の計画の精査、関係機関との調整 ・広告物等の被覆・撤去に係る設計、施工、原状回復

○契約期間：契約確定の日の翌日から令和7年12月5日まで

審査結果

➤ 案件1について、契約締結前（入札経過、契約候補者、契約金額等）の審査を実施し、了承された。

委員の
主な意見
(要旨)

(案件1について)

○原澤委員

下見積に協力した事業者はいずれも、大幅に金額を引き下げた価格で入札している。その要因として、入札期間中に事業者からの質問に対して仕様の内容をより具体的に説明できたことが考えられるとのことであるが、精度の高い予定価格を出すためには、下見積算出の前提となる仕様書を入札段階と同様の内容とすることが望ましい。

今後は、予定価格積算の参考となる下見積の依頼時までには仕様の内容をより明確化・具体化できるように努めていただきたい。

○黒石委員

入札した事業者がいずれも、7,000万円前後で入札している。これは、下見積時よりも仕様内容を明確化することを通じて、各事業者が下見積よりも大幅に減額しても対応できると認識したからなのか。

⇒ 委員長

我々の認識としては、入札過程における質問回答を通じて、各事業者の仕様に対する理解が高まり、求められる内容や水準も正しく認識された結果、こうした金額に収斂されていったものと考えている。